

第496回今別町議会定例会会議録（第4号）

第4日（3月13日）

出席議員 7名

1番	綿谷敏明君	2番	中嶋恵君
3番	本間闘士君	4番	太田英一君
5番	田中哲也君	6番	小倉潤二君
7番	本郷良克君		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	阿部義治君
副町長	飯田哲君
教育長	佐藤泰仁君
会計管理者 税務会計課長	奥崎匠君
参事・総務企画課長	太田和泉君
町民福祉課長	山崎真直君
産業建設課長	遠田剛洋君
教育課長	相内譲君
総務企画課長補佐	平山茂樹君
町民福祉課長補佐	成田秀和君
税務会計課長補佐	澤田淳一君
産業建設課長補佐	川村一樹君
教育課長補佐	平山治門君
診療所事務長	平山寛哉君
代表監査委員	相内啓司君

職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	佐 渡 慶 剛 君
主 事	野 土 谷 侑 斗 君

議事日程

第 1 議案審議

- ・ 議案第 1 4 号 令和 7 年度今別町一般会計予算

午前10時00分 開議

○議長（本郷良克君） おはようございます。

ただいまの出席議員は7名であります。よって会議を再開いたします。

日程第1 議案審議

○議長（本郷良克君） 日程に従いまして、議案審議を行います。

議案第14号から第19号まで令和7年度一般会計予算及び特別会計につき、一括議題に供します。

事務当局の説明を求めます。山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君）

先日、太田議員からの質問でありました国民健康保険事業について、担当課からの説明が不十分でありましたので、改めて説明させていただきたいと思います。

説明は、議員の皆様にお配りさせていただきました資料に沿って説明させていただきたいと思います。

また、参考資料といたしまして、3方式、4方式の説明資料も添付させていただきましたので、後ほどご確認いただければと思います。

説明は町民福祉課成田課長補佐から行いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 成田課長補佐。

○町民福祉課長補佐（成田秀和君）

〔議案第11号 今別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について補足説明〕

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 補足の説明、大変ありがとうございます。

昨日質問した趣旨は、この内容を説明した上で、条例改正して、算定額についての影響がない旨を報告していただかないと、その条例改正そのものでその金額に変動が生まれるという危惧から質問したことであるので、今後の条例改正等についての説明については、要因をきちんと説明していただければ幸いです。どうもありがとうございました。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君）

〔議案第14号 令和7年度今別町一般会計補正予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君）

〔議案第15号 令和7年度今別町国民健康保険特別会計（事業勘定）予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 平山事務長。

○診療所事務長（平山寛哉君）

〔議案第16号 令和7年度今別町国民健康保険特別会計（診療施設勘定）予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君）

〔議案第17号 令和7年度今別町後期高齢者医療特別会計予算について説明、議案第18号 令和7年度今別町介護保険特別会計（保険事業会計）予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君）

〔議案第19号 令和7年度今別町簡易水道事業会計予算について説明〕

○議長（本郷良克君） 議案第14号を審議願います。綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） まず、21ページの歳入、ごみ袋の販売代金ということで、このごみ袋というのは、当初、燃えるごみ処理を今別でできなくなって、青森市にお願いする際に、ごみ処理料の一部としてごみ袋を売るということで町でやったと記憶しております。

しかしながら、ごみ袋の種類が最近変わりました、非常に町民から不満が出ています。ごみ料として、処理料として頂くごみ袋から、利用する町民からそういう苦情が出る事が、私はおかしいと考えております。今までみたいなごみ袋、「大」と書いてあるんですけれども、同じく「大」と書いてあるごみ袋に手提げのついているごみ、かなり小さくなっております。私も実際、今使っています。全然ごみ入りません。ただ、高齢者の方とか、そういう方については非常に便利だと思います。ただ、私の言っているのは、今までのごみ袋がなくなって新しいごみ袋にすることじゃなくて、青森市あたりもごみの袋の厚さも違うし、種類も何種類かあります。使う人が自分の好きなごみ袋を

使える、選択できるということなんです。今別町は選択できません。あとごみ袋ないので。しかしながら、ごみ処理料として頂くごみ袋から、町民から不満が出るという事態が私はおかしいことだと思います。

今後、このごみ袋を元の形に戻すとか、もしそういうお考えがあったら、課長のほうから説明していただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） ごみ袋につきましては、私のほうにも町民の方からそのようなお話はいただいております。また、新しいごみ袋についても、使いやすいというお声もいただいております。

そういうことを考えまして、来年度、令和7年度の当初予算には計上しておりますけれども、来年度においては、新しくしたレジ袋タイプのごみ袋と、従来のごみ袋、2種類を用意させていただきまして、販売していきたいというふうに考えております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 分かりました。

できるだけ早く、非常に不便です、自分も実際使って。できるだけ早く選択できるようなものを構築して販売していただきたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今、綿谷議員言ったのと同じなんですけれども、今のは、まずは大・中・小、新しいごみ袋できましたよね。このごみ袋、やっぱり薄くて弱いという苦情が大分来ています。今現在、使っている人は、さらにその中に違う袋を入れないと破れてしまうもので、その使用しているごみ袋のほかにまた袋を使っていると苦情が来ているんですよ。だから、これは意味がないと。

前に、従来使っている、あれも多く入るし、ごみも多く入る、強い、破れにくい、で値段がなぜ同じなのかと、そういう苦情もあるので、その辺ちょっと。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） ごみ袋につきましては、新しいごみ袋も以前のごみ袋も、入る量としては45リッターで、どちらも同じ量が入ることとなっております。

新しいごみ袋は、まちがついていて広がる形になっておりますので、それをフルに使っていただければ、同じ量が入ることとなっております。

価格といたしましては、実際に、今のレジ袋タイプのごみ袋のほうが町では高い金額

で購入しております。ただ、住民の皆さんに負担を増やさないように、その増えた分は町が負担しております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今言ったのは分かりました。

ただ、ごみ袋の中にまたさらにごみ袋を入れないと、今の新しいごみ袋がもたないという、そういう苦情が来ているんですよ。その辺の対応って、何かいい対応できないものでしょうか。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） 今のレジ袋のごみ袋につきましては、材質がどうしてもちょっと薄くなってしまうというのがありまして、私もいろいろ探してみたんですけども、あのタイプでちょっと厚いのというのが、私自身探せなくて、本当の業者の方に確認すればあるのかも分かりませんが、そこは業者の方とご相談して、もしそういうものがあれば、そちらも考えていきたいというふうに思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） ごみ袋の件なんですけれども、青森市の例を見ると、0.03と0.02ってあるんですよ。20枚入っているものと、10枚入っているもの等もあります。もしよかったですら青森のほうに行ったとき、スーパーとかに行って、そういうものを実際見て、どのような形で今別町がごみ袋の購入を構築するかということを、ちょっと考えていただいたほうが非常によろしいかと思います。

高齢者の方は10枚入り、当然安くなるわけですね。その中でも0.02と0.03ですか、厚さが違うやつも青森市のほうでは販売しているので、そういう販売例を見ながら、これからの今別町のごみ袋を考えていただいたほうがよろしいかと思います。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） てんしょう苑です。以前、てんしょう苑のほうに椅子5脚ほど入っていたので、大変助かったんです、助かっているんです。お年寄りの方は足、膝悪い、腰悪いとかいって、大変助かっているんですけれども、お年寄りが多いもので、5脚ではちょっと不足なところがあります。もう5脚、青森市のほうに要望してもらえれば助かるんですけれども、いかがでしょう。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） てんしょう苑に、畳の部屋に5脚置いてあります。椅子

につきましては、てんしょう苑のほうにちょっと状況を確認しながら、てんしょう苑と広域事務組合とで協議しながら検討していきたいと考えております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その辺は何とかよろしくお願いします。今言っても、すぐ年度内にできるというものではありませんので、今からもう要望とかしてほしいなと思ったもので質問しました。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 47ページの総務費、一般管理費の特別職給料とかは分かるんですけども、一般職の給料、それから、フルタイムの任用職員の人数を一応確認したいんですけども、今、把握できていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 一般職のこちらは18名、会計年度任用職員は4名でございます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） ほかの会計項目でもフルタイム任用職員とかって何項目か出ているように見受けられたんですけども、これは町長が先日言われた業務を楽にするといえど変ですけども、業務の負荷を軽減するために3名ほど増やすという話だったんですけども、この割り振りについて、どの会計に何人かということ、ちょっと。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今のところは、予算計上の話なんですけれども、一般会計、2-1-1のほうに計上させていただいております。まだその割り振り等は、まだしていなくて、とりあえずこの一般会計に計上しているところでございます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 当初予算なので、人員の割り振りとかそういうものを、業務の割り振りというのは、本来は明確にしていだかないと、どういう予算をつくっているんだと、一般会計から特別会計のほうに行ったとか、それから、会計項目がずれたとかということになると、当初予算をつくった意味合いがないし、その予算の運用に関して、下手をすると不適切運用、それから、禁止項目の運用とかに抵触する可能性もあるので、その辺については十分配慮した当初予算、例えば、こういう行事を予定しているので予定予算として千円予算とか、1人人数を割り当てておくとかというのが正規な予算のつ

くり方だと思うんですけれども、この点について町長のほうで様々なことを経験していると思うので、この点について指導のほうはされたのか、ちょっと町長のほう確認いたします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） ありがとうございます。

正規職員もパート職員も含めて、今、特別会計も一般会計もそうだけれども、今3人という話もありました、非常に厳しい中での職員体制、昨日も話しましたので、そういう中で、今悩みながら4月1日を迎えようとしていますので、様々な各課ごとの職員の配置も今考えて、それから、追加の3人の、今、追加って語弊があるんですが、3人の方も入れながら、来た方の構成を見ながら、もう一度4月1日に向けて悩んでいきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 確かに応募がなければ募集もできないしということは、十分考えられますけれども、それにしても事業計画、業務計画という段階で予算書を作成すると思うので、その点については今後十分配慮した予算をつくっていただきたいと思います。

それから、すみません、後で。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 65ページの今別町創業支援事業、この事業のちょっと内容説明をお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらですけれども、移住定住施策の一つであります。この事業ですけれども、これまでも予算のほう計上しておりましたが、今まではちょっと実績がない現状であります。ただ、令和7年度から今別町総合計画が始まる中で、移住定住というのは非常に重要な項目と思っておりますので、今回も予算計上させていただきます。

こちらなんですけれども、創業資金の最大100万円までを支援するものでございまして、また、商工会等にも事前に審査してもらって、チェックを受けているところでございます。今年度、今のところ問合せだけなんですけれども、2件の問合せを受けているところなので、今後、こちらのほうもぜひ活用していただきたいなと思っておりますのでございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） この事業、本当に大変意味のある事業なので、今、今別町でも人口減少が進んでいる中なので、ぜひこれは進めてほしいと思います。

その下の第二青函トンネル構想事業70万円計上していますよね。まずこれも、まずこれからの事業として大きな事業になるので、ちょっとこの事業の70万円というのはどういうふうなことに利用するんでしょう。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 令和7年度では、この同じ事業をやっています北海道福島町と合同で国会と、また関係機関のほうに要望活動をしたくて、今回こちらのほうを予算計上、主なところはそういったところでございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） この青函トンネルの構想ですね、大変私も、未来のある構想なので、この予算に関わらず、常に福島町と交流取りながら、国にも呼びかけて、本当に進めてほしい事業なので、これからの何ですか、我々もこの事業にも携わっていきますので、ぜひよろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 31ページです。農業費補助金に関してです。

昨日も減額のところでお話ししたんですけれども、次世代人材の投資150万円、町の、町というか新規就農者、農業機械50万円とか、当初には載っていないんですけれども、僕も畜産業営んでいますが、跡取りがいらないということで、担い手として県のほうに登録してあるんですよ。なので、その方たちが、例えば、今別に行って新規就農で田中家のところを継ぎながらやっていきたいという新規就農者が来た場合などのこともないとは限らないと思うんですよ。なので、この、いなければ減額で構わないんですけれども、最初から載っていないというのは、僕ら活動していく中で、「いや、今年補助金とかないんだよね」というような話になると、また今別町の未来もなくなってくるし、私たち畜産農家にとっても、やっぱり畜産業を維持していく中で、非常に残念なことになり得ることなので、何とかこれ、どうなんでしょう、課長。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 議員のおっしゃることもごもっともだと思います。私も今聞いて、確かに削ってしまって、全くなくなってしまったという印象を与えるのもど

うかと思えますけれども、現状の状況ですので、すぐ補正でつけるという回答はできないですけれども、代わるものとして案内して募集とか、目につく行動はするようにちょっと検討していきますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） ここ数年、新規就農者がずっとゼロで続いていて、その結果だと思えますけれども、やっぱり我々事業者として、こういうのがなくなって、いろんな市場とか、あちこち行っている話しますので、あればそういう話もできますので、何とかお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） さっきの小倉議員の質問にかぶるんですけれども、65ページの第二青函トンネル構想事業交付金の質問でしたよね、たしかね。これ何で交付金なんですか。事業を実施しているんですか。例えば、構想の段階で協議会に対して交付金を交付しているのであれば分かりますけれども、この表記の仕方でいくと、もう既に事業を実施しているところに交付金を交付しているというふうに読み取れるので、この点については、きちんと文言を確認して予算をつくっていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 予算書ができてから、私もここ気になったところでございます。ご指摘ありがとうございます。こちら文言のほうはちょっとこれから精査して適切に対応したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） それから、巡回バス買うんですけれども、その規格概要を確認したいんですけれども、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちら巡回バスなんですけれども、これまで予算のほうに何回か計上させていただきました。そのたびにメーカーの不正等で購入できなかったりとかあって、また今回ちょっと載せたところなんですけれども、規格としては、27人乗りのマイクロバスを今回予定しているところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 今のバスの購入の件なんですけれども、購入は古いバスの更新なので問題ないと思えますけれども、これ古いバスの処理はどのようにお考えですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 古いバスについては、これまで町では売ったりしていたんですけれども、さすがに乗れるようなバスじゃないので、古くて、廃車を予定しているところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 表現が悪いんですけれども、古いバス、乗れなくなったバスでも、一応町の財産なので、そういう買いたい人いるか、いないかは関わらず、そういう行動をすることは、私は大事だと思います。1,000円になるのか1万円になるのか分からないんですけれども、購入希望者がなければ、また廃車にする方法を取るべきじゃないかと私は思いますけれども、どうですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ありがとうございます。安易に廃車にするのではなく、以前とったような、部品取りで業者さんが買ったりとかというのでも考えられますので、その辺はちょっといろいろ見てみて、対応していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 一般質問でもありましたように、一応町民の皆さんの財産なので、売買を考えて、歳入を考えたほうがよろしいかと思い、今質問しましたので、ぜひその方向でやっていただけるようお願い申し上げます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 181ページの消防団の報酬です。この報酬ですね、今までは分団のほうに入っていたと思うんですけれども、昨年から多分、個人個人に支払っているのだと私は認識しています。この報酬なんですけれども、出勤回数に伴って多分支給していると思うんですけれども、団員が分からないうちに通帳のほうに振り込まれていると。自分でこのくらい出たのに、何でこの金額か、そういうのはまだ苦情は来ていないんですけれども、そういうこともあり得るので、やはり振込する前に、この出勤回数、その個人個人、誰が何回出たのかと、その確認のためにも、通知した後に、私は振り込むべきだと思うんですけれども、その辺いかがでしょう。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ご指摘ありがとうございます。

今回のこの振込なんですけれども、昨年度から始まった報酬個人支給の関係なんですけれども、出勤回数ではなく、一律、階級によって支払われます。支払方法としては、上期、下期という形で2回に分けて支払っております。今議員おっしゃられたとおり、通帳を見たら、ただ今別町と書かれていて、どこから振り込まれたのか、何のお金なのかというのが全く分からない状況のまま行っておりますので、今後、消防の報酬のみならず、いろいろ振込あると思うんですけれども、その辺については町としてちょっと検討していきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 私の今言ったのも少し間違いありましたので、すみませんでした。

それと、今回の消防団活動について、積極的な参加のお願いって通知出したみたいですね。今、各分団とも分団が人が少なくなっている中で、この通知を見た限りでは、活動に出ない人は辞めてくださいとか、そういうふうにも取れるような文書で私は読み取ります。この団員が少なくなっている中、ちょっとこれは厳しいのではないですかと私は思うんですけれども、その辺どういうふうなあれでこれ出したんでしょう。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 先日というか、昨年通知したところでございます。

まず初めに、個人支給になる際、各団員にお願いしたのが、その通帳の写しとか、それを町のほうに提出とかするようお願いしたところでございます。言うなれば幽霊団員の方の整理です、そこに関しては。新聞等でも問題取り上げられていましたけれども、幽霊団員の整理で、今回見たのが、全然1回も出ていない方もこちらでありました。各分団からの活動報告とか見て、そういった中で0回というのがありましたので、まだ、引き続き、実際その人に関しては、やっつけていただいているんだ、自分は消防団だということで、当初、通帳等もコピーとかこちらに提出して、自分は団員だということで、意志を示しているところなんですけれども、ただ、この1年間に関しては、何らかの事情、仕事の関係とかいろいろ事情あって出られないのは重々承知していたんですけれども、やはり町としても税金をその団員に払う以上は、やはり適切に処理したくて、一応、各分団のほうにお願いしたんですけれども、やはり分団でもなかなか本人とは連絡取れないとか、難しいという状況だったので、町として文書で通知して確認したところでございます。

決して支払わないとかではなくて、一応、その人の分も意思確認取れた時点で支払う

という体制は取っておりましたので、それを確認した上で支払うということにしております。そういう体制で今回通知したところでございます。（「分かりました」の声あり）

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○４番（太田英一君） 79ページ、補助金と交付金のことなんですけれども、前の９月議会だったですかね、町長のほうに納税組合のほうの補助金の増額、再考をお願いしたんですけれども、これ今見ると、補助金が10万円、それから、事務交付金が62万2,000円となっていますけれども、普通に考えると、これ連合会全体に対する補助金が10万円という捉え方で、各、個々の組合ではないということですよ。この表示からいくと。

○議長（本郷良克君） 奥崎会計管理者。

○会計管理者税務会計課長（奥崎 匠君） そのとおりであります。補助金に計上されてあります納税貯蓄組合連合会補助金につきましては、町の連合会に対する補助金となっております。

その下の交付金につきましては、各単組、各地域にあります単組に対する事務費の交付金という扱いであります。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○４番（太田英一君） 連合会の10万円については、総会費とか様々なことだと思うんですけれども、そうすると、各単組に対する事務費の交付金については、今現在、何組合組織されて活動されているか、把握できておりますでしょうか。

○議長（本郷良克君） 澤田課長補佐。

○税務会計課課長補佐（澤田淳一君） 今ご質問のあった町内の納税組合の数なんですけれども、今14あります。

補足になるんですけれども、先ほど交付金、各単組への交付金の増額の要望ということで、令和６年11月に当町の納税組合、高齢化で減少であったり、組合の解散ということが問題となっていて、そのような状況で事務費補助金が減少して、今後組合活動を維持していくことが困難ということで、町の連合会会長から町長のほうへ要望活動を行いました。その上で、補助金の引上げを行うことになりまして、これまで一般税であれば、納付した額の2.5%が最大だったんですけれども、それを３%に引き上げます。国保税については、現在2.0%のものを2.5%まで引き上げます。それに加えて、組合の中の人数が少ないところだとあまり増えないということで、組合に対して固定で払って

いる基本割、これまで5,000円だったものを1万円引き上げて1万5,000円にすることにしました。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） これ、今なんか阿部町長にお願いしたのは、これを納税組合の衰退を招いたのは、町長もご存じのとおり、緊縮財政で給料の減額、それから、各団体への補助金・交付金の減額という古い流れがあつて、その流れが昨年まで続いていたように見受けられたので、町長の英断をお願いしたんですけれども、実際問題として、単組に1万円、それから、取り扱う金額によって数万円になるのか、数千円になるのか、それ、昔の基準でいくと、組織されている人員、それから、基本的なことって大体10万円から15万円程度もらっていた経緯があるんですよね。皆さんが納税組合で総会開いたり、慰安旅行に行ったりとか、そういうことでできていたんですけれども、この14組合で60人くらいとなると、単組で単純に割り返すと5万円にならないんですよね。ということであれば、その単組で一生懸命町税を徴収して町に納めている方々に対する労苦の報酬としてはいかがなものかなと考えますので、もう一踏ん張り町長頑張って、納税組合の衰退をここで食い止めていただきたいんですけれども、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） これは昨年から話ししてきた部分であつて、その昨年から話してきたのに対して、連合会長等が に来て、まず今非常に組合も少なくなって、払う税も少ないので、率にしても幾らも入ってこない。総会をやっても一杯飲む分もないという話で、事務費の分のつり上げと、報酬の前やった固定資産税等のやつ、0.5%ぐらいずつ上げました。連合会のほうではそれでよしとして持ってきたもので、私もそれで満額の回答してやったんですが、今、太田議員からもうちょいという話なので、その辺まだ次年度に納税組合の総会もありますので、その辺と懇談しながら、あまりまた一気に上げるといって、またほかの各種団体の補助金のバランスもあるので、その辺も考えながらまた検討していきます。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 納税組合のお金というやつは、町の財源を補っている納税組合なんです。ほかの団体で事業を育成するための補助金とか交付金とかとまた意味合いが違って、直接投資で直接還元なので、その辺については聖域みたいな扱いで考えていただきたいなと思います。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 暫時休憩します。

午前 11 時 52 分 休憩

午後 1 時 04 分 再開

○議長（本郷良克君） 休憩を解いて会議を再開いたします。

田中議員。

○5 番（田中哲也君） 午後もよろしくお願いします。

49ページお願いします。

70周年記念誌印刷代とあるんですけども、これはどれぐらいの部数の印刷代で、どこにどのように支払いをするのか、お願いいたします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらですけれども、町政施行70周年の記念誌を作る予定になっております。ただ、この配布なんですけれども、式典も予定しておりますので、その式典の出席者用に作成する予定になっております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5 番（田中哲也君） じゃあこれ、とりあえず出席者用ということですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） はい、記念式典に来ていただいた方に配布するものになっております。大体180部とかそれぐらいになるかなと思っていますけれども。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5 番（田中哲也君） そのほか、例えば町内のどこかに置く可能性もあると思うんですけども、町民に配布したりすることも考えていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今現在考えているのは、まず式典に来た方には紙ベースのものを配布するんですけども、そのほか町ホームページ等のほうにデータで掲載等する予定です。また、各施設、公共施設のほうにも配布できればと考えているところでございます。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5 番（田中哲也君） 分かりました。町民の方々も紙ベースで欲しい方もいると思われるんですけども、その辺の対応はどう考えていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 前回、60周年では各世帯に配布したところでございますけれども、今回は来た人だけということと、あと、各施設に置くのと、あと町ホームページのほうで対応するという事で、各世帯には配布しない予定でございます。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 町民で何だかんだ欲しいという人が出てくる可能性もあると思うんですけども、その辺の対応はどう考えますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ホームページのほうで載せているんですけども、そちらのほうを、紙質等変わりますけれども、もしどうしても欲しい方は、そちらを印刷して配布とかももしできるのであれば、そういう対応したいなと思っておりますけれども。（「分かりました」の声あり）

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 59ページです。

地域プロジェクトマネージャーの報酬が139万3,000円計上されております。今年度で地域プロジェクトマネージャーの活動任期が終了に伴い、こちらの予算計上だと思われませんが、地域プロジェクトマネージャーがこれまで行っていた業務、また、さきっちょフェスという新しいイベントの創設、そういったものも含めて、非常に彼が貢献した成果というのは、一定数の成果を上げていると思うんですが、今後どのように考えているか、考えをお聞かせください。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 現在の地域プロジェクトマネージャー、任期が6月いっぱいになっております。その分の予算計上になっておりますけれども、これまでの実績でいきますと、地域を発信する事業、さきっちょフェスとかも該当するんですけども、そういった事業とか、あと宿泊、飲食環境の充実をさせたいということで、海峡の家に入ってみたりとか、あと地域の、今プロジェクトマネージャーが住んでいるところの地域での飲食、カフェとかそういったものの事業、あとコミュニティー支援策ということで、アジトといいますか、そういったものを創設したりとか、あと買い物支援に対する様々な検証やワーキンググループをつくっていろいろやったりしたのもプロジェクトマネージャーのほうでやっていただきました。また、大きいところでは、町内に

新法人を立ち上げるということで、その法人を介していろいろ活動していただいたというのもありました。それはもともと地域プロジェクトマネージャーをこちらで募集した際の中でもそういったプログラムありましたので、そのプログラムどおりやっていたのかなというところで感じているところでございます。

今後については、今回、地域プロジェクトマネージャーの募集は行いません。予算書にありますとおり、地域おこし協力隊の今回募集を考えております。現在の地域プロジェクトマネージャーを今後どのようにしていくのかはちょっとまだこれからになるんですけれども、もし今別町に残っていただけるのであれば、そういった地域おこし協力隊が入ってきたときには、多大なるバックアップをしていただきたいなということで町としては考えているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 以前も一般質問や議員審議のときに何度か地域プロジェクトマネージャー、そして、地域おこし協力隊について質問させていただいておりますが、以前お話しした集落支援員、こちらは地域プロジェクトマネージャーの報酬額に比べて額面は当然落ちますが、任期の期間がないといったことや、あと、地域に根差した職業であるということから、集落支援員のことを何度かお話しさせていただきました。

前回の答弁では、地域おこし協力隊の次のステップアップとして、集落支援員になればいいんじゃないかという答弁だったと認識しておりますが、例えば、さきつちフェス、あれは地域プロジェクトマネージャーでありながら法人を立ち上げてまして、その中で行っております。ただ、地域プロジェクトマネージャーという役職があつて、責任感とか職責とか、そういったものもあつて、ああいうイベントをやってきたというところもあると思うんですけれども、例えば、地域プロジェクトマネージャーの職務が外れて、法人単体でのイベントをやるというのは、なかなか難しいところもあるのかなというふうにちょっと懸念しております。なので、集落支援員とかそういった制度を活用すれば、財源も確保され、持続可能なそういうイベントになるのではないかなというふうな思いがあるのですが、そこに関してはどのように思いますでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 一般質問等で集落支援員についても答弁させていただいているところでございますが、確かにせつかくの人材でありますので、その先を考えたときは、そういった集落支援員とかの制度を活用して、町に残っていただいて、

いろいろまだ活躍していただければというところがあるんですけども、やはりそれは本人のことなので、相手のあることなので、当然、町と集落支援員になり得る人とは協議検討する必要があると思います。

さきちょフェスに関しても、確かに地域プロジェクトマネージャーという役ではやっているんですけども、そこを越えた、もともと幅広いコミュニティの中でプロジェクトマネージャーをやっていたところがありますので、そこに関しては、すみません、地域プロジェクトマネージャーというよりも、彼個人の力のほうが結構あるのかなという形での感じはしているところでございます。

引き続きそういったつながりを持ってやっていただければ、町としてもそこは協力していきたいなと考えているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 分かりました。

非常に若くて優秀な人材であると思われまますので、ほかの地域に行って力を発揮するのも、この地に残って発揮するのも、それは本人の気持ちの問題もありますので、私が申し上げることではございませんが、できればそういったことも検討して、今後考えていただきたいと思います。

同ページにあります地域おこし協力隊報酬（パート）とあります。1,188万円計上されておりますが、これはどの程度の人数を採用する見込みで予算計上されているかお聞きします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらですけれども、昨年の11月に民間派遣ということで町で募集しました。本間議員ご存じだと思いますけれども。現在、2事業者よりぜひ地域おこし協力隊を受け入れて事業をやっていきたいということの話がありましたので、町としては5名受入れということで今回計画を立てているところでございます。

4月よりまた本格的にこれについて募集かけるんですけども、とりあえず2事業者からそういった申込みがありましたので、それに対応できるだけの人数での募集ということで、今回予算計上したところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 事業者側の受入人数と、町で活動していただく地域おこし協力隊等々、おそらく大きく分けて2つに考えていると思うんですけども、その割合は、今、

2事業者から申請があったと。ということは、残りの3名が町の活動をするという認識でよろしいでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） すみません、配置に関しては、まだ検討中でございます。実際、その事業所のほうから計画書は上がったものの、実際どれぐらいの人数受け入れるとか、必要なかというのは、これから詰めていくことになるんですけども、やはりの不足ないようにこちらでも対応したいということで、この人数になっているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） この予算書を見たときに、おそらく数名、4名から5名ほどの人数であろうという予測はできました。ただし、町で採用するとなると、住居や活動車の整備等が必要になると思います、人数のほうを聞いたんですけれども、まだそこは確定していないということでよろしいんですね。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 実際その活動内容等によって、例えば、地域おこし協力隊の必要とする車とか、いろいろ必要品に関しても多分変わってくると思いますので、そこに関しては、今後その事業者との協議検討になると思います。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 分かりました。

続いて、同ページにあります協力隊インターン生活動報償費、こちらについて説明をお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらですけれども、インターン制度ということで、地域おこし協力隊に着任する前に、2週間から2か月程度でインターン生としてお試しでこちらに赴任していただくというものでございます。

実際、突然、こちらの今別町に来て、自分の考えていたのと、何といたしますか、地域性が違ったりとか、ちょっとこの町はというのを防ぐために来ていただくものに対して、実際来て働いていただきますので、その分の報酬ということになっております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 分かりました。

関連の質問として、63ページまで飛びます。

地域おこし協力隊募集周知業務委託料74万円、日々のサポート業務委託料39万6,000円、地域おこし協力隊受入業務委託料1,000万円、こちらの説明をお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） まず、お試し協力隊の受入委託ですけれども、こちらに関しては、当町を体験してもらうということで、お試し協力隊、先ほどのインターンとも絡む部分があるんですけれども、受入れに関して町内をアテンドしてもらうという委託になります。こちらは、誰にアテンドしてもらうかは、ちょっとその内容等によっても変わってくるんですけれども、そういった形の委託料になっています。

募集周知の業務委託ですけれども、協力隊の募集は、本間議員ご存じのとおり全国どこでもやっていて非常に多くの自治体が募集しているところでございます。町のホームページや総務省のホームページのみでは周知力が欠けている部分がありまして、今まで町ではホームページやそういった形でしかちょっと活用していなかったものですから、非常にヒットするのが厳しいのかなと感じているところでございました。そこで、有料の移住サイトがあるんですけれども、そちらのほうにも募集の記事を掲載したくて、町職員が作った募集案内よりも、プロといいますか、きちんとしたアイデアのある方に作っていただいたほうが閲覧件数なども増えるのではないかということで、今回こういった委託料を計上したところでございます。

日々のサポート業務ですけれども、地域おこし協力隊の任期が、3年後の定着率なんですけれども、そちらは任期中の、要は3年間どれだけサポートされてたとか、その地域に受け入れられたとかによって、3年後どれだけ移住したいか、定住したいかという気持ちに大分左右されると思うので、そういったところのサポートがこれまでなかったと思われます。任期途中で終わった地域おこし協力隊もいるので、やはり地域、地域のサポートといった部分に当てるサポートをしたくて、今回委託料を計上したところでございます。

ただ、そのサポートについても、誰がやるとかというのは、例えば県のほうにお願いするとか、そういったところも考えているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3番（本間闘士君） 地域おこし協力隊に関しては分かりました。

常々課長のほうからなかなか入ってこないんだという境遇も聞いておりましたので、

そういったところに投資する分には必要不可欠かなと思います。

地域プロジェクトマネージャーがこれまで補っていた業務を抜けた場合、地域おこし協力隊が入ってくるまでは、行政の方が、担当職員がある程度担当すると思うんですけども、そういった部分からも地域おこし協力隊には早く行政のほうに入っていて、町の魅力発信とかそういったことに対応していただきたいなと思います。

すみません、何度も、同ページにありますご当地商品名ライセンス使用料とあります。こちらのほうについても説明をお願いします。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらは、アウトドアスパイスで有名なほりにしさんというところがあるんですけども、そちらに昨年、町でエントリーしました。そしたら、青森県の代表ではないんですけども、青森県のご当地ほりにしということで、今別町がライセンスをもらうことができて、ほかで、県内ではまずできない、青森県は今別ということでライセンスを取得したんですけども、その使用料になります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 69ページにありますラブ・いまべつ会の交流会の旅費に関して、ちょっと要望させていただきます。

ある町民から、自分もラブ・いまべつ会の交流に参加したいというお話がありました。ところが、今までの参加のやり方を見ると、町長をはじめ役職の方とか職員とかに限られて、幅広く町民の方にお知らせして、行きたい方、旅費は別として、そういうふうな形に募集したり、周知したりすることは、私はなかったのかなということを受けます。そういう町民からお話があるということを理解していただいて、今後、青森とか東京でもしやる場合には、広く周知して、こういうことを、交流会をやっていると、行きたい方はどうぞという形で募集を募りながら、この交流会に町長をはじめ特別職の方と一緒に参加するチャンスをつくっていただきたいなと私は考えますが、総務課長どうですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ありがとうございます。

今は、ラブ・いまべつ会の会員限定みたいな形でこの交流会実施しているところでございますけれども、やはり懐かしい顔、人に会いたいとか、そういったのも多分あると思いますので、東京交流会、なかなか町として個人個人に旅費出すのは非常に厳しいと

ころがあるんですけども、行けるんだという人がいるかもしれないので、そこは今後検討していきたいなと思っております。

また、逆に、ラブ・いまべつ会の県外に出ている人が町に来るようなこともありますので、そのときはぜひ一緒になってそういう交流会とかそういったのも周知していければということで考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 東京だけじゃなくて、青森のラブ・いまべつ会の総会とかそういうのもあるので、東京も青森市内も含めて、参加したい方の町民の方と交流するということが非常に大事になっていくと思います。これは人数が1人であっても2人であっても、交流にはすばらしい効果が出てくると思うので、今後、そういうことを考慮しながらやっていただきたいと考えております。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ありがとうございます。綿谷議員おっしゃるとおり、ラブ・いまべつ会とか青森今別会は関係人口にも該当しますので、やはりそういう人たちは大事にしていかなければならないと思っております。今後、交流会とかラブ・いまべつ会の会長さん、また、青森今別会の会長さんともこういう話があったよということで、ちょっといろいろ話を詰めていきたいと思っております。ありがとうございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） 133ページの一番下、今別町花き育苗施設解体委託料です。これはちょっと場所どこでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらは二股の東北電力に入っていくところのガラスハウスの解体設計の委託料になります。

花き育苗施設、曲がって向かい側の小屋ではなくて、ガラスハウスそのものの解体設計の委託料になります。

○議長（本郷良克君） ガラスハウスはガラスハウスだけれども、育苗ハウスになっているから。名前がちょっと、今はガラスハウスだけれども、前は花き……。小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） ガラスハウス、これ一回、前に見積り上げていませんでしたっけ。なぜまたこの委託したんでしょう。ちょっとその辺、説明願います。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 前の設計から時間が経過したこともありまして、今現在の金額で改めて、結局、解体が廃棄ではなくて使えるようにしての解体なのかどうかも含めて、今後、その解体方法の検討もあるので、改めて設計をするために予算を計上しております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） それについてはいいです。

一番最後も、221ページ、町民ふれあい文庫エアコン取替工事235万6,000円、これエアコン何台分ですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） ふれあい文庫のエアコンは、今現在ついているのが、それこそとんでもなく大きいものでして、このドア2枚分くらいのエアコンで、それを1台設置いたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その大きいエアコン1台にした理由は何ですか。今のこの壁かけであればまだまだ安く済むでしょう、普通。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 今現在ついているのが古くなりまして、それを撤去して同じような型のやつをそこに設置します。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ちょっと意味が分からないんですけども。ドアの大きさのエアコンつけるんですか、今度は。今までは壁かけ用のやつなんじゃないですか。

○議長（本郷良克君） 今ついているのは天井につるエアコン。相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 業務用の大きいエアコンなので、こういう天井についているやつじゃないので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） それまず分かりました。

この壁かけだったらまだ半分以下の値段でつくんじゃないですか。電気料も多分抑えられると思いますけれども。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） ふれあい文庫自体、本とか置いているところが非常に大きいので、同じような大きさ、大きさといいますか、設置する予定でありました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 壁かけ用のやつ二、三基つければ100万円もかからないんですよ。それでも同じような効果というか、本の傷みやすい、汚れとかそういうのなくなると思いますけれども、二百何万円って意味ないんじゃないですか、これ。壁かけ用だったらまだ安く経費抑えることができるんですよ。なぜこの大きい二百何万円のものにしているのか、ちょっとその辺分らないんですよ。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 役場の議場みたいにつけるとすれば、多分室外機とかも何台もついたりして、また、つけられないところとか多分出てくると思いますので、設計上といいますか、今ついているところを取り払って、そこにまた設置したいと思っておりました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） そういう説明をしてくださいよ、初めから。まあいいです。

次、217ページ、赤根沢整備事業設計、これどういう工事になるんでしょう、赤根沢は。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 今、赤根沢の周りが草とか泥とかで整備されていない状況で、整備するために境界とかそういうのを測って、境界とかを調査していただいて、整備したいなと思って考えておりました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その赤根沢の境界というのは、あそこ観光地にもなっていますし、境界出ているんじゃないですか、あそこ。今、町の草刈り業務でもあそこを草刈りとかしているはずなんですけれども、工事するための業務設計ですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 一応、境界とかきちんとまた調べて、手入れをして、その結果、赤根沢を観光できる、見やすいように整備したいと考えて業務をお願いしていました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） まあ分かるんですけども、この先、どういうふうな事業計画あるんですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） その後、その測量を実施してから、きちんと観光客とかが来たときに車を止められるスペースとかがつくれるかどうか、それも検討するといひますか、そういうふうに整備したいなということで計画しました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 分かりました。

後でまた細かく聞きますので、議会終わった後ですね。

もう1点、199ページ、読書活動推進員、これってどういう推進員なんですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） この読書活動推進員は、昨年度、図書管理システムというものを購入しまして、小学校の図書の整理に関する、データを入力してもらったり、あと読み聞かせとか、小学生に読書の指導をしていただくためにお願いするものです。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） というひとは、これまた別個に人を雇用するとかそういうことなんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） はい、教育委員会のほうでお願いして採用いたします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） これって今まであったんですか、新しい事業ですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） これは新年度やることになりました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） これって必要あるんですか。今までなかったのに何でこう急にこういうの。教育長、こういうのって必要あるんですか。今までなかったのに何でこういうの必要になってきているんですか。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 新しい小学校に移りまして、旧小学校から蔵書、図書室にある本等移しました。それから、旧高等学校にある本も小学生が使えるものというふうな

ことで、結構な量を図書室に今保管しています。今のままですと、その整理がきちっとできていない、それから、図書を整理するためにパソコンのシステムを入れたんですが、そのデータ入力が全くできていない状況であると。このデータを入力するためにはかなりの時間と労力がかかり、なおかつ専門的な知識がないとなかなか難しいというふうなことで、今回、司書教諭の資格を持っている方に何とかお願いできないかというふうなことで、この読書活動推進員を予算化したところです。

実際に司書教諭の資格を持っている方であれば、子供たちの普段の読書活動、例えば読み聞かせなどもかなり効果的にできるというふうなことで、今回予算をお願いしているところであります。

以上です。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ということは、これからの募集になるんですか。それとも、もう決まってしまうているこの推進員なんですか。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 今、募集、この司書教諭を持っている方ということで募集をかけて、これから面談をする予定になっております。

図書の司書教諭というのは資格がきちっと……。

○議長（本郷良克君） 勝手に意見を言わないでください。小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今の答弁をお願いします。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） すみませんでした。

司書教諭というのはちゃんとした資格が必要で、詳しいことちょっと分かりませんが、学校でも12学級以上の学校には必ずその司書教諭という資格を持った方が必要であるというふうなことでなっていますが、今別町については、その12学級ないので、それに代わる方がやっても構わないということになっていますが、本来は司書教諭という方が、資格を持っている方が学校にいて、そういう図書の分別とかデータ入力、それから指導関係を、きちっと指導すべきだと言われております。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ということは、今別町町内の人にそういう方がいらっしゃるという認識で今募集するんですか。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 一応、なかなかこの司書教諭の資格を持っている方がいらっしゃるらないので、前々今別小学校校長の奥様が退職されて、司書教諭を持っている方であるということで、元今別小学校の木村先生が次年度もまだ学力向上推進員という形で今小に来てくださるというふうな意向があるので、奥様と一緒に来て、子供たちのためにやっていただきたいというふうなお願いをしたところ、いいですよというふうなことがあったので、今、この予算を計上しているところです。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ということは、もう既に決まっているということになるのではないですか。先ほども聞いたんですけれども、募集かけると言っていましたよね。何か矛盾していません。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） すみません、募集かけるというか、委託、こちらで選んでその仕事を委託するという形でお願いしたいと考えております。（「分かりました」の声あり）

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 123ページの清掃費の消耗品、清掃事業等消耗品って、これ具体的に何を指しているんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） これは、先ほども話に出ましたごみ袋になります。今回は、今在庫が燃えないごみと資源ごみに袋も大分少なくなってきましたので、来年度その分も予算計上させていただいております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 約700万円なんですけれども、この700万円でおおよそ何年ぐらい使える消耗品なんですか。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） 可燃ごみについては、大体毎年購入しております。ただ、そのほか、燃えないごみ、資源ごみについては、2年、3年に1回という形になります。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 私の認識不足なのか、勉強不足なのか分かりませんが非常に

に大きい消耗という形になって、これを、ごみ袋なので販売して、収益までいかなくても、トントンという形で対応できるのか、それとも、物価高騰によって販売価格は抑えているんだけど、原価が高くなって、もしかすると採算割れする可能性もあるとかという、そういう試算はできていますでしょうか。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） 今、実際、物価高騰でごみ袋の単価も上がっておりますけれども、その上がった分は町が負担して、町民の方には負担を増やさないようにしております。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） ごみの問題についてはいろいろな角度から私も何回か質問しているんですけど、実際問題、今別町のごみは青森まで搬送して燃料費、それから時間的な人件費等がかさんでいるのが事実です。

今現在、外ヶ浜の焼却場については、焼却物が足りなくて燃料で炉を温める時間とかがあるように伺っています。そういうことを踏まえると、輸送コストの削減、それから人件費の削減ということを考えると、外ヶ浜への搬入とかも今後検討して、総体的にこのごみ処理に関して考え直す時期に来ているのではないかと思うんですけども、町長いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） うちは今、青森のほうに搬送しています。これ何年になるんですが、その前までは外ヶ浜へ搬出という形で、ただ、今、蟹田の炉はうちのほうのごみが行っても処分しきれないという中で、今、青森市に行っている状態だったので、今、太田議員の言われるのは、私、今初めて聞いた感じがするので、それは検討する余地があると思います。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 町長の認識は正しいと思います、当時は。今現在は、今別町もごみの量も多少なりとも減っているし、外ヶ浜、要するに、三厩、平舘、蟹田という地域の集積している、収集しているごみの量もかなり減少しているような話を聞いています。そういうところをやっばりお互いに協議して、限られた予算を有効に使うということで、我々の段階ではなく、行政側のほうで調査、協議、検討していただければ助かりますので、よろしくお願いします。

続けてよろしいでしょうか。（「はい」の声あり）

171ページ、道路維持費の15材料費、道路補修材料費32万5,000円とありますけれども、この32万5,000円は、俗に言うレミファルトとかそれを指しているのか、違う細々のもを指しているのか、ちょっと確認します。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらの材料費については、マイルドパッチ簡易アスファルトといいますか、あちらになります。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 本間議員も一般質問でされていましたが、春になると亀裂とか、掘り返しというか穴とか、そういういろいろなことが目立ちます。ここ数年、私見ている限りでは、町職員が何かほとんど対応しているみたいに見受けられます。古い話で申し訳ないんですけれども、昔は、私たちが、私たちというか、私が行政にいた頃は、材料費は買って、元そこに水防倉庫ってあったんですけれども、そこに100袋とか200袋とか買って、町内の業者に除雪した工区については、あなたたちが調査確認と言えいいんですか、それをして、穴を見つけたら材料を持って行って補修しなさいというていがあったんですよ。そういうことを考えると、昨日も言いました、職員の雑務と言え変ですけれども、肉体労働的なことを省く意味でも、材料ここにあるから、除雪工区の業者が除雪工区でそういう場所があったら、例えば4月いっぱいまで補修してくださいとかっていう、そういう制度をもう一回やれないものでしょうか、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） いや、最近どういう形で職員が対応してレミファルトを準備してやっているか、そういえば、私まだちょっと把握していないのであれだけれども、昔のやつは分かっていますよ、レミファルトを水防倉庫に入れておいて、搬出して業者でやったというのは分かっているし、我々もやりましたので。ただ、今の状態がどういうふうになっているか、担当の部署とまた相談しながら考えていきますので。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 今の太田議員の補足なんですけれども、ちょっとこれ、今マイルドパッチ、アスファルトの補修材ですよ。これちょっとみんな勉強してほしいんですけれども、長持ちさせる方法あるんですよ。今多分役場のほうでは、穴埋めするためにそのマイルドパッチを多分ただ突っ込んでいるはずなんです。舗装というのは下地を

温めて乳剤を、乳剤というのは接着剤みたいなものなので、それをやって転圧、それがなされていないので、一冬ももたないときもあるんですよ。ですから、ガスボンベとかを用意して、下地を温かくして、それで乳剤塗布してマイルドパッチで転圧する。それを繰り返せば多分1年強、2年ぐらいいもつと思うんですけどもね。ですから、安いものでないので、長持ちさせるためには、やっぱり業者さんとか専門業者に一応確認した上で、そのマイルドパッチも使ったほうがいいんじゃないかと私は思うんですけども。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） お教えいただいたことをちょっと勉強させていただいて、対応していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） ただマイルドパッチ、舗装材を補修してもやっぱりすぐはがれてしまうんですよ。その辺まず勉強しながらやっていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 157ページの備品購入費、イベント用ステージ購入費のことでちょっと確認させていただきます。

前、ステージのない時代はトレーラーが来て、トレーラーがステージ代わりとしてやった、レンタルですね、もあるんですけども、この550万円で購入するステージというのは、どういう形のどういうものなのかちょっとお聞きしたいなと思って。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今回のステージなんですけど、そもそもの始まりは、昨年度、一旦ステージ購入予算を計上していた経緯があります。ただ、昨年度は今使っているステージとそんなに変わらない、ほぼ同じ、今所有のステージが大分壊れてしまったので買い換える計画で動いたんですが、そのステージ、同じようなステージで買い換えるのであれば、運用性からも意味がないということで、去年のうちに実はもう組立てしやすいもの、職員の手でも簡単にできそうなものということで当たったところ、昨年度はもう年度内には絶対入ってこないよということで、去年あきらめて、秋祭りはトラックステージを手配して実施しました。今年度改めてステージを購入するか、トラックステージで今度継続していくかというのを考えたときに、年間の祭りをトラックステージで全部賄った場合、トラックステージだけで年間で150万円近くやっぱりかかってしまうという計算が出ました。それであれば、まず5年使うと新しいステージ買えるだけの

経費を使ってしまうので、改めて組み立てしやすいステージということでいろいろ当たって、今回、そのステージ、同じような形、今使っているステージはちょっと構造違いますけれども、トラックで搬送可能、職員でも組み立て可能なステージを今回選定して計上したところでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 予算でいろいろ話したことを振り返ると、買うつもりだったんだけれども買うのをやめて減額します、じゃあ新年度でつけましょうやと、そういう話が非常に多いんですよね。なので、今の550万円のステージというのは、簡易ステージで移動も簡単、組立ても簡単なものを購入するということでよかったですか。

それは悪くないんですけども、6年度で予算つけて、吟味してやる、だったら6年度の当初のときにきっちり吟味して、このステージばかりじゃなくて、そういうのが多過ぎますよ。後でもまた質問しますけれども、この予算について反対はしません。ただ、安易に欲しいから予算をつける、買えないから削る、じゃあまた新年度に予算をつけるんじゃないんじゃないですかというのが、いろいろな予算のところで出てきているんですよ。ねえ、町長ね、何か所か出てきていますよ。副町長、どうでしょう。そういう予算のつけ方だったらおかしいんじゃないですかって、私だけじゃないですよ、みんな議員思っているんですよ。もうちょっと、強くは言いませんけれども、きっちり吟味して予算をつけて活用するようにしてくださいよ。答弁は要りません。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） 155ページ、昨年も物価高騰のやつで商工会のほうから商品券発行したんですけども、前回買えない人が、まず町民の3分の1ぐらいいた、そういうふうに私は聞いていました。何でこうなったのかちょっと説明をお願いします。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今年度、6年度の商品券については20%付与した上での1,150セットの販売を行いました。確かに全世帯分というわけではなくて、行き渡らないという声があったのも事実で、聞いております。

すみませんけれども、その1,150セットになったいきさつは、すみません、現状確認、私しなかったもので、こちらについては後ほどちょっと何でそうなったか確認させていただきます。

来年度については、30%上乘せした分で2,500セットで計上しておりますので、最低

限でも1世帯1セットはいくようにという枚数選定をしたところでございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 分かりました。

この商品券ですね、今現在発行しているやつは、昨年まで発行したのは20枚つづりで1万円ですよ。プラス4枚でしたっけ、2,000円分まず補助すると、そういう商品券でしたよね。ただ、この1万円の金の商品券を買えない、まずお年寄りとか、そういう家庭がいるんです、実際。件数とかそういうのはちょっと分かりませんが。ですから、1万円じゃなくて5,000円分の商品券とかそういうのも検討してみたら、私はいいのかなと。5,000円プラス1,000円サービスになっているはずなので、そういうのも考えてみたらどうでしょう。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 来年度分、令和7年度分の商品券については、その枚数どうするという、まだ契約もしているわけでもないですし、予算確保してからになりますので、実際に販売業務を委託する商工会のほうとかとちょっと相談しながら検討してみたいと思います。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） その辺、ぜひ検討してみただければいいと思います。

まず今の商品券、各地区じゃなくて大きい場所に五、六か所か二、三か所置いたはずなんです。まずその場所に行っても時間指定あって、例えば8時から5時まで商品券引換えしますよとか、そういうのを連絡、毎戸チラシしたはずなんですけれども、行ったら売り切れてない。空戻りなんです。歩いていく人も、車で行く人も、みんな受け取ることができなくて、今別に来れば、今別もうない。そういう状況が何日か続いたそうです。あるところにはたくさんあったと。何かその売り方のほうにもちょっと問題があるのかなと。ですから、その辺もちょっと、やはりこの商品券なので、全世帯にわたるような、そういうふうなやり方しないと、せっかく買いにあって、空戻りとかそういうことが実際あったので、そういうのも一緒に検討していただきたいなと思いますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 私も確かに去年行ったらなかったという声は、去年じゃないですね、6年度の分、買いに行ったらなかったという声はかなり町民の皆様からお

聞きました。ただ、どこかに行ったらいっぱいあるって、その部分、私ちょっと聞いていなかったの、どこかで余っていたとかという話はなくて、全体的に足りなかったという認識でございました。

ただ、来年度については、ちょっとその販売方法を含めて相談していきますので、よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 183ページです。備品購入費、分団消火品の93万2,000円、今年は129万4,000円載っていて、全額減額になっていて、来年度の予算に93万2,000円載っています。

今回の山火事で、テレビを見ていろいろ思ったんですけども、今別町の分団にはジェットシューターはありますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） ジェットは分団にはないですね。本部分団のみです。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） 分かりました。

今回の大船渡の火災を見ていると、このジェットシューターで消火ではなく事前に防ぐ活動をしている映像がニュースで結構流れていました。あれを見て、これは今別の分団、各分団にあったほうがいいのかなと思ってニュースを見ていました。今後、この備品購入で導入する計画とかはありますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） まずこの備品購入についてちょっとご説明したいんですけども、これ各分団に不足のある備品等について確認して対応しているものでございます。今、田中議員おっしゃられた、じゃあ今の山火事があって、ああいう大きい火事があったのでどうするかというのは、今後、分団長会議、また役員会議のほうで検討してまいりますので、よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○5番（田中哲也君） ぜひジェットシューターの購入も各分団に配布できるようなことをお願いしたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 225ページなんですけれども、山村広場トイレ解体工事、山村広場のトイレ、毎朝私、見られる立場にいますけれども、非常に老朽化して解体すると。野球場、テニスコート、また、山村広場の公園の管理、そのほかの管理については、町としてはどのようにお考えですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） ただいま山村広場のほうは休んでいる状態、町民が来て、中とかは散歩できる感じにしていまして、トイレのほうは、古い浄化槽とかそういうのがありますので、電気代とかも発生していますので、まず最初にトイレの解体のほうを行いたいと思っておりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 私、それ言っているのではなくて、トイレを解体するのはいいんですけれども、あと残っているテニスコート、野球場、トイレの前にある広場、草ぼうぼうの広場なんですけれども、そういう管理、活用を含めてどのように考えていますかと。トイレを解体するのは大賛成ですよ。大賛成なんです。そのほかの施設の活用を今後どう考えていますか、それを教育長。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 今まで山村広場については、利用者がほとんどないというふうなことで、私も使われない施設なんだろうなということで、実際の野球場使えるように整備もしていませんし、利用者がいない状況では、今後、スポーツ施設としては使えないのではないかなというふうな認識です。今のところ。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 私見る限りでは、人口減少もあるし、スポーツ振興もそこまで、外のスポーツ振興、野球とか、そこまでなかなかもっていくのは、若者もないし大変だと私も認識しています。教育長と同じ考えです。ただ、あの山村広場は莫大な予算を使ってつくった施設です。当時は教育長も一緒に朝野球をやったり、すごく活用した施設で、今後、その場を使ってまたスポーツでなくてもいいので、地域に貢献できるような施設を考えていただきたく、この質問をしております。

ただ、何をやるにも予算が莫大にかかるものですから、何がいいとかは言えないんですけれども、当然、テニスコートも解体しなきゃ駄目だし、その辺もあるので、今後、計画をきっちり組んで、私のいろいろな場面で話す機会あったときには、解体も、いつ

ばい解体するものもあると。ただ、一度にできるわけじゃないので、その辺も考えながら山村広場の解体でもいいし、利用も含めて考えていただきたくて質問しましたので、何かの機会にスポーツ振興委員の方とか、そういう方々のご意見も含めて聞いていただいて、今後の山村広場の利活用について考えていただきたいなと考えます。答弁はいいです。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 183ページの第10分団屯所解体新築設計委託料ですね、これ町長にちょっとお聞きします。まず、解体も新築も大変ありがたいんですけども、こういう解体というのは、プレハブか何かか、それとも普通の材料を使った新築なのか、そのお答え願います。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらの委託料ですけども、まず令和7年度では解体します。その後、襲月地区の方といろいろお話しした上で、どういった形の消防施設が必要なのかということも踏まえて、委託料、新築の委託だけちょっと考えていました。その意見等を踏まえた形で、また翌年度等、そういった消防の倉庫といいますか、そういったものの建築を検討しているところでございます。

来年度、全部一気にやるというわけではないものでございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 本当に襲月の人たちにすれば、大変ありがたいんですけども、あの地域を見ても、例えば、軽トラの消防自動車でも普通の消防自動車でも、置いてあっても、もうあと二、三年後にはまたその軽トラさえも乗れなくなる状態になると思います、これから先は。ですから、今お金をかけるよりも、かえって、前にもたしか言ったはずなんですけれども、消火栓の増設、私はそのほうがうんとこの地域の人のためになるんじゃないかと思っているんですけども、その辺、まあこれからのことなので、それも含めて考えていただきたいなと。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） この件に関して、一般質問で綿谷議員からもありました、消防をどうするんだということで、確かに襲月地区、また奥平部地区、消防団のない地域のことなんですけれども、やっぱりこちらで一方的にこうしたい、ああしたいといっても、やはり相手のあることなので、そこはやはりきっちり地区と話をした上

で、じゃあこの地区に合った防災消防力をどうやって整備していくのかというのを町としても検討していかなければならないと思っております。

ですので、以前、小倉議員のほうには軽自動車を配備すると言ったものの、その地区の声を聞かなければならないということで、今回予算にも載せておりませんし、一度奥平部、裳月地区とは話をして、また、それと関係する大泊地区の消防団とかとも連携しなければならぬ部分等ありますので、そういった部分で今後話を詰めていきたいと思っておりますのでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 135ページ、一番上の農業振興費の18節補助金、水稻病虫害防除事業補助金というのは、これは有人飛行の共済組合にやる補助金として理解してよろしいですか。はい、ありがとうございます。

有人飛行のヘリコプターもいいんですけども、前、議会でも質問した方もおりますけれども、今はやっぱりドローンとか、私の認識だと有人飛行の後にちょっとした大きなヘリコプター、無人のラジコンのヘリコプターも出ました。その後にドローン、小さくても能率もいいし、散布も簡単にできると。有人飛行機の場合は、かなりの上空から薬をまくので、被害にも遭うと。車にシートをかけてくださいとか、よく役場のほうから放送されていますけれども、この補助金をやめるということではなく、これプラス、やはり農家のために今、ドローンの散布もあるので、今後、ドローンの散布に対する助成事業も考えなければ駄目だと私は考えるんですけども、誰に聞いたらいいか。遠田課長、どうですかね。私は必要だと思います。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 確かに最近、農家のほうとかでは農業関係、どの分野でもそうですけれども、ドローンを活用したものが増えてきております。実際に町内でもドローンを使って薬剤散布している農家さんも実際あります。ただ、現状で今、航空防除のほう、さっき言った有人のヘリのほかにこの協議会のほうで小さいラジコンヘリも使ってやっているのに補助はしておりますけれども、個別の農家さんのほうでドローンを買うとか使用するものに対しての補助というのは行っていない現状です。

ただ、今後増えてくれば必要になるかなという考えは持っておりますので、周りの状況等を確認しながらの検討とさせていただきたいと思っております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） それに関連して、159ページを皆さん見てください。商工費の中に無人飛行機操縦士資格取得講習ってあるんですよね。これは町の職員の方が取るやつなんですけれども、農家の人には散布する補助金は出さないけれども、町の職員は資格をちゃんと取らせますよって、これ恐らく2人分ぐらいだと思います。課長ね、金額で分るんですよ。そういうことからいっても、やはりドローンの活用というのは、今現実化しているんですよ。その中で、私は農家の方にもそういう資格を取らせる制度とか、そういうものも進めていきながらやる必要があるんじゃないか。なぜかという、今、農家は田んぼやっているでしょう、土地改良事業をやっているでしょう、その中できっちり、終わった段階でこういうことをできるような制度を構築する必要があると私は考えています。誰に聞いたらいいかちょっと分からないですけども、町長はこの辺詳しく分からないと思うんですけども、ただ、そういうことを考えながら土地改良事業、田んぼの改良を進めてやってくださいよ。私はそう思います。答弁は要りません。この場で質問したことはきっちり残るので、そういうことを考えながら、町として農業振興も考えながらやる必要が私はあると思います。

以上です。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） 今の綿谷議員のまた補足になりますけれども、今行っているヘリコプターの農薬散布、これ始まった当時、あたりから海の磯焼け、これがもう始まって、そのとき変化が始まっているんですよ。ということは、あのヘリコプターが高いところから農薬散布すると、川のほうにも流れていく肥料も多いんですよ。実際見ても分かるんです、風向きで。今言ったドローンを使用することによって、飛行が低いものですから、農薬が脇に飛び散る可能性が低くなるんです。今まだ、これからまだまだ多分磯焼け来ると思いますよ、磯焼け始まると思いますよ。始まっているんですけども、まだまだひどくなると思います。やはりこのドローンも一回考えておかないと、この辺の漁業にも影響を与えると思いますので、前向きにそのドローンを考えていただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 177ページ見てください。14の工事請負費、河川維持補修工事で800万円ついてます。800万円ついてるんですけども、設計委託料がないんですよ。額800万円に対しての設計委託料がないのに、これはどういう工事をやって、どう

いう形で進む工事なのか、額800万円に対して設計委託料が全然ないと、これもまたできないので12月に補正で落とすんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今回のこの河川維持補修工事なんですが、スキー場線が上がっていったところの川ののり面崩壊の修繕になるんですが、設計行っているかどうか、すみません、この設計したかどうか確認できていません。今回の修繕に800万円ぐらいかかるということで計上してしまったので、その設計については確認させてください。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） さっきのガラスハウス、育苗ハウスの話じゃないけど、1回やったけれども確認するとまた設計を組むような話したんですけれども、まあ分かりました。

ただ、補修工事に800万円を予算見て、今の時代、1年、2年前の設計だとかなりの額上がっていますよ。パーセントでいうと恐らく10%以上価格上がっているでしょう。20%も上がっているかも分かりません。ただ、この予算上げた段階でそういうことも分からないなら、何のために予算組んでいるのか、私は変だと思うんですけれども、80万円なら分かりますよ、800万円ですよ。これ入札しなければ駄目なんだ。考えられないですよ。そういうことを、まあ分からないというのでしょうかがないんですけれども、この問題はまた、これで終わりますけれども。続けていいですか。教育委員会の関係ですね。

教育委員会の関係で193ページ、工事費なんですけれども、今別小学校案内板移設工事って、これ補正でも私質問したんですけれども、今年もまたやれなくて延びるということはないでしょうね。これ延びれば大変ですよ。いつ頃発注する予定ですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） これはもう4月に入ったら東青地域県民局地域整備部のほうに行って、許可をもらえるようにして、早めに工事いたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） これ239万8,000円なんですけれども、これは設計委託要らないんですか。見積りでやる、見積入札か何かでやる予定、今の額でいうと。どういうふうな考えで発注しようとしているのか、ちょっとお聞きしたいんですけれども。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 見積入札でお願いしたいと思っていました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 見積入札で早く入札を執行して、早く看板を造っていただくように、再三お願いします。

あともう一つなんですけれども、オイルヒーター設置工事って、11万4,000円なんですけれども、これって本当に工事なんですか。私の認識でいうと、備品購入費で購入して、オイルヒーター、タイヤのついた引っ張って歩けるオイルヒーターだと思うんですけれども、11万幾らだと。これって本当に工事費なんですか。どういう工事やるんですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） これは公民館の男子トイレにオイルヒーターを設置します。

それで、業者さんに見てもらいましたら、新しく電気の配線を行わなければならない。既存のコンセントにつなぐと、ほかの電気もつながっていますのでブレーカーが落ちます。ですので、このオイルヒーター専用でコンセントを引っ張るためのこのオイルヒーター設置工事となっております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） ちょっと課長言ってる意味が分からないですけれども、ただ、オイルヒーターを使うコンセントを増やすという話なんですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 簡単に説明します。このオイルヒーター、この天井についているエアコンだと思ってもらえれば。エアコンも家庭でエアコン専用で配線しております。ですので、エアコンかオイルヒーターかの違いで工事してもらいます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） いや、私分かっていますよ。エアコンもパワーの大きいやつは3相になるんですよ。アンペア数という話、100アンペアまでやるのは10畳用ぐらいで、寒冷地用でも、それ以上になると20アンペアのブレーカーからもっていかないと設置できないんですよ。それは分かっています。分かっている話しているので、この問題はいいです、分かりましたから。工事をしてください、早めに。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） これ私、役場の人をお願いなんですけれども、今のこれって工事

始まる前に設計委託するでしょう。その仕事によって業者さんにも見積りもらいますよね。これちょっとね、見積り上げてまた設計委託して、業者さんに頼んでこうやって今予算に上げてきているんですよ。だったらそういう二度手間をつくるんだったら、やるんだったら、業者のほうに見積り取らないでほしい。というのは、参考にするためにもらうんでしょうけれども、業者のほうでもその専門家を呼んで見てもらって、測ったりして、それでも1週間、10日かかるんですよ、見積り出すために。なお、今度、こうやって予算のほうに業務委託料としてまた予算上げているでしょう。私これちょっと矛盾しているんですよ、いつもね。何のために業者から見積り取るのか、ちょっと意味分かっていないんですよ、私は。ですから、まず小さい工事は仕方ないですよ、最低限度見積り欲しいんでしょうね。ただ、その手間暇すごいですよ。簡単に見積り頂戴っていっても、1週間、10日かかるんです。業者呼んだり、すごい手間なんです。その辺これから考えていってほしいなと私は思います。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 回数多くてすみません、よろしくお願いします。

139ページ、畜産振興費、12月にたしか冷凍車を減額するときに、課長のほうでは新年度予算という話出していただいたと思います。ところが、幾ら見ても新年度予算にこの冷凍車の購入費がついていない。その理由はどういうことで、どういうふうになったか、経緯はどうなったか教えていただけますか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 12月の時点で車が注文しても入ってくるめどが立たないということで一旦取り下げて、新年度でという考えをお伝えしました。その後、実際に要望があったので、こちらが要望する車両について販売が再開されたんですが、またすぐに販売終了になってしまいました。というのは、その前の長い期間注文できなかった分の受注残がたまりすぎて、もう注文受けられないということで、もうすぐ受注停止になった状態です。じゃあ改めて新年度でまた注文した場合どうなるんでしょうかということをお聞きしたいところ、正直なところを言うと、来年度でも車が入ってくるめどが立たないという話がありました。そこで、要望があった団体のほうと役場のほうとも相談した結果、車の購入は見送った次第でございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 冷凍車の購入というのは、イベントとかあったときに、今別牛の

販売に活用する冷凍車だと私は認識しています。その冷凍車の購入をあきらめて、違う手段はどのように考えていますか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 今まではレンタカーのほうを借りて実施しておりましたので、今後もレンタカーで継続していく形になろうかと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） レンタカー借りるのはいいんですけども、予算はどこから出すんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） レンタカーのほうは今別牛の販売促進協議会のほうの予算から支出されております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 次に、ちょうどその販売促進協議会の補助金について質問するところ、ちょうど課長に誘導されましたので、質問させていただきます。

太田課長が当初で説明したときに、畜産振興費の中で、協議会の補助金が減額になったのでこれが減りましたって、300万円ぐらいですか、なったんですけども、今の時代、今別牛どんどん宣伝して、どんどん売り込まなければならないときに、何でこの協議会の、促進連絡協議会の補助金を削ったと。それ私、納得できないんですよ。納得できるぐらいの削った理由をお聞きます。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） こちらの補助金なんですが、今まで3か年計画で毎月出荷できるように頭数を増やすためということで補助金を増額しておりました。3か年計画が今年度で終了するに当たって、繰越金等もあることから、来年度からまず計画終わった段階で補助金を少し減額して、あと協議会のほうの予算と繰越金と減額した補助金でまず運営してみようということになりましたので、今年度減額をかけております。来年度か。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） まあ減額しても運営できるということで、減額して頭数が変わるわけではないんですよ。でも、3年計画が終わったら、補助金なので、その分を、残っている分を削ってまた補助金を出すと。補助金の性格はそういうものなんですよ。

交付金はかかる分を申請して、実際事業をやって、余ったものはお返しするという、性質、同じ18節でも性質が違うものが交付金と補助金だと私は理解しています。

ただ、3年間の計画が終わったら、また3年間の計画を立てればいいんじゃないですか。今別牛をもっともっとPRして、私、全協でも言いました、PR不足ですよ、今別町は。私はそう感じています。全体予算の3%使うぐらいPRしてくださいよって町長にもお願いした経緯もありますので、ただ単純に3年間の計画終わったからはい、じゃなくて、3年間の計画おわったら、じゃあ5年の計画立てましょうやという、そういうことでどんどん今別牛、畜産振興を図っていかなければ、私はいけないと考えております。遠田課長、どうですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 予算のほう減額しましたけれども、今別牛は大事な町のPRする地場産品、農産物じゃないし、何て言えばいいんだ、（「特産品」の声あり）ですので、引き続きこちらに関しては、来年度は県外でのPRとかも考えておりますので、もっと積極的なPRに心がけていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） 今の補助金に関して、補助金全般について要望というような形の発言になりますけれども、許していただきたいと思います。

各種担当課でいろんな団体とかそういうところに補助金を出しています。その補助金を出したところから、実績報告書をきちんと取って、補助金相当額の事業が実施されているのか、いないのか、今、遠田課長が言った3か年計画で補助金やって、繰越金があるのというのは、本来であれば、返還を求めなければならない補助金です。性質からいくとですね。交付金であれば、定額交付で、（「 」の声あり）そうです、綿谷さん、ということなので、予算つくるとき、予算の項目によって、ただ金額的に載せてもいい、これは精査して載せなければならない、前年度と次年度の差し引きというか、その整合性を図った予算をつくらなければいけない。予算書は、本来であれば、生き物なので、前年度並みとか、何年から継続されているからという固定観念でつくるものではないので、今、議員各位が様々な質問をしていますけれども、そういう意味合いでも質問しているので、今後、その予算計上する場合、それから、予算説明する場合、整合性のある答弁を心がけていただきたいと思います。

それに、町長査定で町長も予算の100%ではなくても、重要な項目については目を通していていると思いますので、そういう点で町長のほうからも指導をよろしくお願ひしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 47ページの会計年度任用職員給与のところでは少しお聞きします。

まず最初に、町長に、会計年度任用職員に関して、令和6年度、庁舎内の事務系の会計年度任用職員は募集しませんでした。そしてまた、どういうわけか7年度にはきっちり募集していると。何で6年度に募集しない会計年度任用職員、庁内の事務系会計年度任用職員を募集したのか。2つ理由を述べてほしいと思います。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 今までの令和6年度のところでは募集はありませんでした。令和7年度では、今、先ほどの午前中のほうでも話しした事務系3人の追加の募集も入りました。そういう中で、今、事務系のほうでも専門職みたいに行行政と、それから土木の関係でも募集しました。というのは、今現在、昨日の話の中でも若い職員が多いために、そういう若い人たちを指導、助言するためのもの、行政分野、どこ分野、土木の分野でということで、今募集、2年ぐらいで何とか職員を指導していただきたいということで募集いたしました。

あと、3名の緊急の募集については、長期の休暇に入る方が非常に多くなった部分もあったので、その整合性、バランスを取るためにということで、急遽の形になった状態であります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） じゃあ、令和5年度、令和6年の3月31日で会計年度任用職員は終わったわけですね。令和6年度に募集しなかったの、今まで働いていた人は仕事が無くなったと。でも、途中でまた、令和7年度になったら募集すると。おかしいんじゃないですか、考え方が。町長の考え、間違っていないですか。令和6年度に募集しなかった会計年度任用職員を簡単に令和7年度募集するんですよ。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 正規職員と採用職員のバランスを取って、令和6年度ではこのメンバーでこなせるという確信の下でやりました。ただ、令和7年度に移ろうとするときに、長期の休暇の方も増えたということで、そういう様々な問題が発生した中で、令和

7年度はそういう職員の募集という形になりました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 私は、町長が今事情を説明したんですけれども、令和6年度に募集しなかったのが、町長の判断が間違っていたと私は認識しています。今まで働いていた人が辞めて、またすぐ募集している。また、募集の内容、応募資格、これは1月15日の町の判こ押しているやつです。この中には、行政経験と土木経験15年以上って、行政経験ってどういう職場ですか、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 行政というのは、事務の中でそういう行政に携わったというこの行政でありますし、土木もそうなんです、そういう関係で、やっぱりややベテラン級に近い、そういう職務に就いた方で15年以上が妥当な勤務年数であれば、これから若い職員の指導もできるかなということの中で、一応従事年数というのを決めました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 私の認識でいいますと、行政というのは、やはり県内でいうと県庁とか市役所、役場、そういうところに働いていた人を行政経験と私は考えていましたけれども、私の考え、副町長、間違っていますか。

○議長（本郷良克君） 副町長。

○副町長（飯田 哲君） 一般的にはそれが含まれると思います。またあと、今、綿谷議員からご指摘はございましたけれども、国というものも含まれるでしょうし、それぞれの外郭団体とかも広義でいえば入ると思います。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 副町長苦しい立場なので、それで分かりましたけれども、次に、7月の28日付で募集した、町長言った3名の方、それは一般事務なんですよね、業務内容が。応募資格は事務経験のある方、またパソコンでエクセル、ワード等の実務経験のある方ということで募集しています。でも、町民の方は、最初に募集したこの経験者の方は、もう決まって募集しているって言われるんですよ、町長、町民の方は。決まってるから募集するんだよって。町民にそういう考えを与えるような、こういう募集の仕方ありますか。全町民対象じゃなきゃ駄目でしょう、これは。もう決まっているんですよ、町長。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 決まるというよりも、募集した中での今、選考を終わった時点であります。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 私の言っているのは、こういう募集の仕方をする、町民は、町長はもう白羽の矢を立てて、もう入る人決まってやっているという認識を町民は、大分の町民は考えていますよ。私もそう思います。私の短い行政経験の中でもこういう募集は、ああ決まっているなというふうに考えられます。なので、私は、今のことも踏まえて令和6年度に募集しなかったというのは、町長の政治判断が間違っていたと私は思います。令和6年3月31日で募集しなかった、6年度募集しなかった方は、全部職をなくしたんですよ。3年も5年も役場のために、町民のために働いてきた人を、ここでは言いません、一般に言うのと切ったと言うんですよ。ここでは言いません、本会議なので、切ったと言うんです。なので、私は、町長の判断が間違ってたって思いませんか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 私は良しとしています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） そう来ましたか。まあ覆ることはないと思って私も質問しているので。ただ、町長、考えがころころ変わって、募集のチラシも2枚に分かれたり、まして最後に募集した人は予算に反映されていないと私は理解しますが、この3名の方の予算、総務課長、当初予算に反映されていますか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちら3名の方は予算のほうに反映されております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 反映されているということなので、立派に反映されていると思います。反映されていないと大変で、じゃあ補正では出さないということですね。調整の補正は出すけれども、補正予算には出さないということですよ。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 今年度、6月定例会でも綿谷議員、太田議員からご指摘ありました。計画されている者に対して予算が反映されていないということありましたので、今回、きちんと募集するに当たってちゃんと予算のほうには今回反映した

ところでございます。

ですので、異動等による調整については、また6月補正で議員の皆様をお願いするところでございますけれども、そういった追加等はありません。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 当初予算つくったのは、手がけたのが11月からだと思います。確定したのが恐らく1月上旬だと思います。中旬から上旬に確定、最後の町長査定やって確定したと。そういうふうに理解しながら、このチラシが28日付ですよ。予算つくってから、できてから募集しているんですよ。それでも入っているというので、私は信じます。補正のほう、微調整の補正は分かります。本体の補正は、まあそこまで言うとな次の楽しみがなくなるのでやめます。

あともう一つ、教育委員会の217ページ、報酬のところですね。今別町文化財歴史指導員報酬、7年の1月31日付で、これ募集かけているやつです。この歴史指導員ということは、募集対象も活動内容、町史編さんに係る業務、町文化財等の保護・保全に係る業務、町歴史の継承・普及活動に係る業務、すばらしい内容なんですけれども、指導員というのはどこまで、例えば、こういう学歴があって、こういう指導員をやるという形なのか、今別町にこういう指導員って言われるような、そういう歴史に詳しい、歴史に関わってきた人がいるのかというの、私は非常に今のところ不思議に考えています。ちまたによると、これももう入る人が決まっているといううわさです。名前も出ています。私のところにこの人入るんでしょうって、来た人もいます。それはとにかくとして、どういう人を対象に指導員というのか、私に理解しやすく説明していただければ幸いですけれども。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 綿谷議員がおっしゃるとおりに、指導員というのは、私がちょっとチラシを作るときに大げさに書いてしまいました。綿谷議員がおっしゃるとおりに、私が間違っていましたといいますか、そういう感じです。

ただ、この指導員とつけたのが、そのくらい情熱といいますか、今別には今別を語る会とかそういう方いらっしゃいまして、そういう大学の先生とかを呼んで、そういう講習会とか開いた方がいらっしゃいまして、何人もいまして、そういう方にお手伝いいただきたい、参加していただきたいという感じであのチラシを出しました。

○議長（本郷良克君） 暫時休憩します。

午後 2時49分 休憩

午後 2時59分 再開

○議長（本郷良克君） 休憩を解いて会議を再開します。

相内課長。

○教育課長（相内 譲君） 先ほどの私の発言に間違いがありましたので、訂正のほうお願いいたします。

削除のほう。（「訂正でなく削除」の声あり）削除のほうお願いいたします。

先ほどの綿谷議員の質問にお答えいたします。

今別町文化歴史指導員の資格がある方と質問されましたが、今別町文化歴史指導員のように見識のある方を募集するという意味でしたので、お願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） そうすれば、歴史指導員というのは、今、課長のなされた、答弁したように、町内の中でもそういう町の歴史に詳しい方という解釈で、課長、よろしいですか。

○議長（本郷良克君） 相内課長。

○教育課長（相内 譲君） そのとおりでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 分かりました。そうすれば、いろいろな方がいろいろな団体をつくって、町史を、歴史を皆さんでお話ししながら本を出したりしている方がいるので、そういう方々の話だと思います。それは、そしていいんですけれども、次に、報酬なんですよ。何か分からないんですけれども、1日4時間程度でやるこの歴史指導員という方は、時給1,480円、庁舎の掃除、朝7時から14時までやっても1,000円、この格差って何なんですかね。私の、次お話しします、何で1月15日付で募集した方々は時給1,000円で、何でこの4時間程、1日4時間程度って午前中ですね、大体、が1,480円って、この違いというのは、やっぱり指導員だからなんですか。ちょっと誰、教育長、お願いします。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） この報酬についてですが、教育に関わる地域学校協働活動推進員というのが県のほうでありまして、その報酬が上限が1,480円ということで、現在、

今別町におります地域学校協働活動推進員の方も時給1,480円で活動していただいております。それに倣って1,480円という額を設定いたしました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 私、今言っているのは、今別町文化財歴史指導員の話をしているのであって、その教育長がおっしゃった学校の関係の委員とは全く違うんじゃないですか。それを同じようにやってきて、この町の募集からいうと、1,000円と1,480円、まあ500円ぐらい違うんですよね、時給ですよ、これおかしいんじゃないですか。私また、この歴史指導員の方も、先ほどの質問じゃないですけども、もう決まっているので、1か月の報酬を逆算して1,480円にしたのかなと、私は勘違いしましたよ。この学校の委員の方と、この歴史指導員との、同じにして考えて1,480円にしたということですか。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 教育文化に関わるというふうなことで、教育業務も、この文化財歴史指導員という方も、同じように教育分野、教育文化分野というふうなことで、同じように考えました。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） でも、チラシに書いてある活動内容と、今教育長しゃべっている中身が全然合っていないんですよ。全然合っていませんよ、と私は思います。教育長これ持っているでしょう、チラシ。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 持っております。町史編さんに関わる業務、それから、町の文化財と保護・保全に関わる業務、町の歴史継承・普及活動に関わる業務ということで募集しており、教育とも関連するものと考えております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 苦しい答弁ありがとうございます。これ以上お話ししても合致しないので、考えが、分かりました。

ただ、一般町民に言わせると、用務員が朝7時から14時まで働いても1,000円より時給もらえないのに、午前中だけで時給1,480円って、町民これ、全然話にならないでしょう。町民レベルで話ししましょうや。こういう募集の仕方、町でやっているんですよ。町民の皆さんみんな言っていますよ。たった4時間働いて1時間1,480円も、これ1か月の報酬逆算して単価決めたんじゃないですかって言っている人もいますよ。これはち

よっと、ちょっとこの単価は、今の、町民福祉課長、最低賃金幾らですか。職種にもよ
ると思うんですけども、953円ぐらいか。（「63円」の声あり）963円ですね。まあ、
最低賃金より多く1時間1,000円と、最低賃金から見ると、この指導員、たった4時間
机の上で仕事して1,480円もらえるんですよ。

町長もご存じのとおり、昔は町史編さん室、私たちの大先輩が町史編さん室を長年や
ってきて、今の新しい町史を作りました。このパートの人が1年、2年、この町史編さ
ん室に携わって、そのような実績を求めてこういう人を募集してやったのかという、そ
の求めるものを聞きたいです。何を求めてこういう募集をしたかと。教育長。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 町史編さんに関わる業務といたしましては、これから町の町史
編さんに関わるために、いろんな方々から助言をいただき、それから、編さんをしてい
かなければいけないと。そのための準備段階として、どういうふうな内容にするか、ど
ういう方を選んでこの町史編さんに関わっていただければいいのかと、そういうことも
含めてこの募集している方にやっていただければなというふうに考えております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 私、さっき、教育長答弁する前に言いました、町史編さん室を役
場内に設けて、町長分かっているとおり、大先輩が町史を作るために何年もかかりまし
た。たしか3年目でようやく町史編さん、何年もかかったんですよ。これパート4時間
で、教育長言うような、こういうたった4時間で、5年やっても6年やってもできませ
んよ。それだけ歴史というのは難しいものなんですよ。パートで4時間やって、はいで
きましたって、できないですよって私は認識を持っています。もしやるのであれば、フ
ルタイムとかそういうので徹底して次の新しい町史を作るための準備期間としてやるの
が、私は分かるんですけども、たった4時間だけのこの勤務時間で、なかなか、何十
年かかってもできないですよ、と私は認識しています。

ただ、何回も言うとおおり、時給の問題はちょっと、ちょっとですよ。考えられないで
すよ、私たち、私は考えられない。でも、町のほうでは当然やって当たり前の単価だ
というの、今質問してよく分かりました。ただ、こういう募集に関して、町民はみんな
目を通しています。なので、そういう疑いとか、そういうことを感じられないようなチ
ラシを出してほしい。例えば、さっきも言いましたけれども、行政経験、土木経験ある
人、行政経験といえはあの人だ、あの人よりいないなんて、話している人が町内にいる

んです、実際、募集の仕方がそうだから。だから、町長にお願いしたいのは、こういう会計年度任用職員とかそういうパートの方でも、誰でも募集できるような資格、最後に募集したような、事務経験者とか、そういう表現でやっていただければ、私も何も言いません。行政経験だもん。私も行政経験あるので申し込めますか。まあそれは冗談ですけども、ただ、そういうことを考えながら、ぜひ8年度の募集については町民の方が、みなさんが対象となるような募集の仕方をしてくださいというお願いですので、町長、よろしくお願いします。（「はい、ありがとうございます。了解しました」の声あり）

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） この予算書、今日の予算書ですね、まず各課が、各団体、協議会とかに補助金大分出していますよね。まずその補助金を上げている団体から費用対効果とかそういうのを考えると、報告書みたいなのを必ずもらおうと思うんですけども、それもらっているんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） 各種団体から申請書上がって、その後、実績報告というのを頂いているところでございます。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6番（小倉潤二君） 上がっているところは上がってくるんでしょうけれども、例えば、漁業のほうですね、ナマコのほうに関して、私、委員のほうもやっているんですけども、全然私のほうにはナマコを補助金を出して放流した、何万個放流した、でも、次の年、全然報告上がってきていないんですよ。目安でもいいんですよ、あれね。例えば、全部全部調べる必要ないと思うんですけども、例えば、船の上からでも、ガラスかぶって、大体目標を決めて1メートル四方、あとは全体掛ければ出てくるので、1メートル四方で、ここにナマコ何ぼいたよって、このぐらい成長してるよとか、そういう報告書が全然上がってきていないんですよ、全然、聞いたこともありません。だから、そういうのをちゃんとこれから、多分、半分ぐらいはそういう報告上がってきていないと思いますよ、私は。各課でも分ると思います。その辺、まず新年度は徹底していただきたい。せっかく金あげても、その費用対効果の効果が上がってこない、何のために金をやっているんですかってなりかねませんので、この補助金の、まず申請の報告とかそういうのは確実にやっていただきたい。何とかその辺、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 67ページに9目の諸費なんですけれども、今別町職員自主研修交付金ってあるんですけれども、これはどういう研修に対しての助成金なんですか。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちら、令和6年度も計上させていただきました。その実績からいいますと0件でした。こちらなんですけれども、今別町の職員の中で、例えば、私なりが総務課なんですけれども、例えば、観光のほうの事業とかをちょっと見てみたいとかって、イベントをちょっと企画したいとかって、そういう若い職員がそういう自分の課だと今動けないけれども、ほかの自分で興味持っているものとかに対して、研修旅費というのを出す事業でございます。

また、出すに当たっては、その自分の目的とか、そういったものを町長のほうに報告した上で、その研修していただくという形のものでございます。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） これは、研修する職員は公務として研修できるということですか。かかった経費はこの助成金から出すという解釈でよろしいんですか。分かりました。ありがとうございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3 番（本間闘士君） 147ページにあります狩猟免許取得助成金についてです。

今、狩猟者は銃の所持とか狩猟者免許とか様々な問題起きていまして、全国で、実際に取得される方が少ないと、そういった事情も踏まえて、なおかつ、秋田まで、秋田県のほうで熊の被害が出ているなどの報告があって、青森県のほうでこれまで狩猟者免許の取得に係る部分の助成だったものを、銃の所持のほうも拡充するような内容のニュースを見たんですけれども、今年度の予算には狩猟免許の取得助成金というのが計上されておりますが、県のほうからそういった意向なんかは示されているものでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） すみません、私のほうでは、その県からの通知等は確認しておりません。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○3 番（本間闘士君） まだニュースで恐らく一時的に流れたのか、それはちょっと確信持てないんですけれども、現時点で、今別町と外ヶ浜の猟友会というのが非常に人数が少なく、今別、三厩、外ヶ浜、蟹田地区、平舘と、いろんな地区を兼務しております

ので、狩猟者のやっぱり若い人の狩猟免許の取得とか、そういったものもこれから拡充していかなければいけないんじゃないかなと思っております。なので、もし県のほうからそういった意向が示されましたら、柔軟に対応していただければと思いますが、いかがでしょうか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 通知のほう確認します。県のほうにも確認しまして、状況を確認して対応は取っていく方向で検討しますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 73ページの18交付金、新幹線等通学助成金、これ太田課長が説明するときに、利用者が増えたので額が増えましたよという話しました。でも、私、町長に一般質問でも8時53分金田着の便に、JRにお願いして、完全予約制でもいいので、そういうものを出すと親の負担も少なくなる。100%補助でないで、新幹線はかなり額も高くなるし、あれです。実際、新幹線を通っている子供は、8時53分着の列車に接続できてうちまで帰って来られれば、新幹線使わなくてもいいという話をしておられる方もいました。ぜひとも、こういう260万円、まあ別に通う人には当然、補助金を出すべきなんですけれども、親の負担を軽減して、JR津軽線を通えるようなことで、JRに再度お願いしていただけないかなと私は思うんですけれども、まあ一般質問でも町長のほうからは、JRのほうにはお願いするという答弁いただいているんですけれども、この場でもう一度、町長、何とかこの時間帯に子供たちが通えるようなJR津軽線に接続する交通手段を町長のほうからJR東日本のほうにお願いしていただきたいと、再度お願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 先日、一般質問でもお答えしたんですが、今、新幹線の通学定期の助成も含めて、今、話になりましたので申し上げます。これは、今別町が奥津軽駅誕生して助成制度、一般町民の利用に対しても助成と。通学する子供に対しても通学助成を出すということでありました。

ただ、綿谷議員が先般言った8時53分だか、その列車で来た場合の今別までの来る交通の足がない、タクシーの延長をかければまだ可能性があるという話もありました。そういう中で、今、令和7年度が本腰入れて、今、JRと今別町、外ヶ浜町、県、これでダイヤ編成とNPO法人についての協議が深いところまでこれから入って行きます。7

年の詰め、8年で固めに入りますので、この7年のところの用意どのところで、私以下、担当者も、副町長も今担当でやっているんですが、その辺でつど、二股の上の道路のバス停の件も含めながら、J R と、関係者と、ゆっくりと詰めていきたいし、確実にやっぱり利便性が高まるものにしていかなければいけない、それが J R が今 N P O を立ち上げる意味もありますので、その辺しっかりと今、詰めていきたいと思っています。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 町長には何とかよろしくお願いしたいと思います。ありがとうございました。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） すみません、長くなりました。ちょっと確認のためにお聞きします。今の春からまた公園の管理の草刈り業務始まりますよね。今、この予算書を見ると、乗用の草刈り機の購入を見ているんですけども、これって今の公園管理に使う乗用の草刈り機ですよ。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） はい、お話しいただいたとおり、これからの、来年度の公園管理に使うものになります。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） これちょっと保険、この乗用の保険、確実に入ってほしいんですよ。手で刈る草刈り機は普通の保険でも効くんですけども、この乗用の草刈り機だけは別個に入らないと、保険のけがの対象とか死亡の対象にならず、もし事故があったとき大変な目に遭いますので、これ何とか確実に入ってほしいです。お願いします。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 保険に関しては確認して対応するようにします。

○議長（本郷良克君） 小倉議員。

○6 番（小倉潤二君） これ普通の保険とまた別個なんですよ、乗用の機械だけは。別個なんです。ですから、確実に入っていただきたい。よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1 番（綿谷敏明君） 161ページです。工事請負費、公園遊具設置工事。これはたしか補正で載った、6年度の補正でやったのは、奥津軽いまべつ駅の道の駅のそばの公園に

今、工事入っていると思うんですけども、これはどちらに設置する遊具なんですか。

○議長（本郷良克君） 遠田課長。

○産業建設課長（遠田剛洋君） 駅のほうの遊具設置したんですが、そこにもうちょっと追加するのと、団地のほう、昨年度予定だけして結局国交省のほうの申請とかが必要になったので取り下げたんですが、団地のほうに置く分もこの中に含まれております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） この遊具の問題については、本間議員が一般質問されて、予算獲得したようなことになっています。町長が言ったのでそうなのでしょうね。去年と今年の予算で1,700万円、一千六百五、六十万円になるんですよね。本間議員の質問の中で言っておられましたが、1か所に遊具をまとめて車とかそういうので出かけて、子供たちと一緒に遊べるような形にして、私もそう思うんですけども、中央団地に設置というのが悪いということではないんですけども、ぜひとも1か所に集中させるのは、やっぱり道の駅ある、体育館ある、奥津軽いまべつ駅があるあの周辺にはぜひともそういうお子さんを連れて行って、弁当を広げたり、そういうふうに有意義に家族で出かけやすいような公園をつくっていただきたいと私は考えていますけれども、町長、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） ありがとうございます。団地もそうなんですけども、今、体育館の横の公園、あずまやがあるところなんですけれども、あそこ今、今年度分のやつはもう工事入っております。今、追加工事も新年度予算でいくんですが、今綿谷議員が言うように、体育館もあり、道の駅もある、奥津軽いまべつ駅もあるという形で、やっぱりあの一带を青森近郊からでも皆さんがお弁当を持って遊びに来る、また道の駅でご飯食べて遊べるという、家族で、ファミリーで楽しめるエリアにしたいというのが、私の思い出あります。

特に、私、今見ているのが、浪岡の道の駅の高台のほうにそれがあるんですよ。あつちも非常に新しい遊具、今入れ替えて、土日になれば家族で来ていますから、そういう関係で、ぜひあの辺もやっぱり今別の体育館の周辺にもぎわいを、子供たちが来ていつもにぎわっている状態にしたい思いでいますので、何とかご指導またお願いします。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） その件については町長、よろしくお願いします。

私から最後にいいですか。225ページです。教育委員会の町スポーツ協会育成補助金、これ総務課長の一般会計の説明では予算が増えたということをおっしゃったと思うんですけども、225ページの町スポーツ協会育成補助金です。たしか予算が増えたということで、補助金の予算を増やすということは、何か目的があってスポーツ協会にこういうことをしていただきたいとか、スポーツ協会からこういうことをやりたいから予算、補助金をくださいとかということがあったと思うんですよ。その増やした要因となったことをちょっとお聞きしたいなと思います。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（佐藤泰仁君） 町スポーツ協会のほうの予算を増やしたわけですが、前回でしたか綿谷議員のほうから障害者スポーツの振興もちょっとやってもらいたいというふうなことも、たしかご意見いただいたと思っていたんですが、その障害者スポーツに関わる、当町でも全国大会に出られた方もいましたので、そういう全国大会等に出られた方に補助ができるようにということで上げている分もあります。

それから、令和8年度より中学校の祝日の部活動は地域でやってもらってくださいということが決定しております。これは完全実施というふうなことで考えられております。

それから、その後3年ぐらいの時間をかけて、平日の中学校の部活動も地域移行にしてくださいというふうな、一応国の方針みたいなのが今出されています。ただ、学校の先生が全く関わらないというわけではまだないんですよという、ちょっと曖昧な国の答弁なんですけれども、それに関わって、じゃあ地域移行をした場合、例えば中学校の中体連とかに行って、幸いにも全国に行ったというふうな場合、スポーツ指導者の資格を持っていないと参加できないというふうなことが言われています。そのスポーツ指導者の資格を取るために、期間も必要です、予算も必要ですし、登録料も必要というふうなことで、2名分の一応予算を取って、何とかスポーツ協会にお願いして、そういう方の育成も一緒にやっていければなというふうなことで予算を増額しております。

○議長（本郷良克君） 綿谷議員。

○1番（綿谷敏明君） 分かりました。今別中学校でやられているスポーツはバドミントンが主流で、あと個人的に青森のほうのスポーツクラブに行って陸上をやられる方もいるということで、非常にバドミントンの指導者を養成するというのは1年、2年ではできないことではないので、計画的に指導者を育成して、町の予算はかかることなんですけれども、子供のために、ぜひ中学生のために、ぜひ教育長にはそういうものを続けてい

ただいて、素晴らしい指導者を育成していただけることをお願いして、私の質問を終わります。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） ささいなことかもしれませんが、73ページ、総務費の中のAED購入費、それから、165ページのAED購入、上段、下段、道の駅のほうにもAED購入って、私、目にとまっただけで3か所、金額全部違うんですよ。もう1か所ありますか、もう1か所ちょっと目につかなかったので、どこか分かりませんが、3つ全部違うんですよ、金額。4か所目どこかちょっと探してください誰か。これって全部違うメーカーとか、違う機種を購入するのか、同じ機種を購入して、各予算つける場所で単価が違ったのか、その辺ちょっと確認してください。

○議長（本郷良克君） 参事。

○参事・総務企画課長（太田和泉君） こちらですけれども、もともと使っているところと、見積りいただいたところとか、それらが違う会社でした。財政のほうでもこれ気づけばよかったんですけれども、気づかずそのまま進みました。本当であれば、まとめて購入するとか、そういった形が一番ベストだと思います。安くなることもあったりするので、そこは太田議員ご指摘のとおり、各メーカー違いますし、いただいた見積りも全部違っていたという現状でありました。

○議長（本郷良克君） 太田議員。

○4番（太田英一君） それぞれにメリット、デメリットあるかと思いますが、使う人のことを考えると、同一のものを、統一されたAEDを各所に配置しておけば、使い方なり何なりという、利便性が非常に上がると思うんですよね。無駄な経費を抑えられる可能性もあるし、高価なものしか買えない可能性もあるんですけれども、そういう点で、何回も言いますが、予算書ってそういうことを踏まえて、微々たるものを調整して適正な金額の予算書を作る、それで町の全体像を運営していくというのが予算主義の予算書の作り方ですので、私の課が予算多く取ったからいいとか、どここの課は何も仕事してないから予算つけなくてもいいとか、というような感覚で仕事をされると、町自体が疲弊してなくなります。町がなくなれば職員が要りません。我々議員も、町長も不必要になります。そういうことを避けるためにも、もっと親身に、もっと謙虚に、その1円、1円を大切に予算を組んで、予算執行に当たっていただきたいんですけれども、町長の覚悟を一言お願いします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（阿部義治君） 今の機器について、私も今言われて、まだ中身そこ見ていなかった部分あるので、太田参事も言っているんだけど、太田議員も言った、そういう機器は緊急時に使うものだから、広域消防も併せて使うんだけど、やっぱり広域の施設にある分、公共にある分、全て同一機種というのが自然だと思うんですよ。誰でも同じものを、講習会受けた方も同じ機種を使えるという、それ当たり前のこと、高ければいい、安ければいいでなくて、同一機種をそろえるということが大切だと思うので、その辺は、予算は予算としてついたので、私のほうからも同一のものを買うように指示しますので、よろしくお願いします。

○議長（本郷良克君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（本郷良克君） 議案第14号の質疑を打ち切ります。

お諮りします。議案第14号を原案どおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（本郷良克君） 異議なしと認めます。議案第14号は原案どおり承認されました。

本日はこれをもって散会いたします。

午後 3時30分 散会